

記者発表資料

平成28年6月24日
国土交通省
鹿児島国道事務所

南九州道の開通により各分野で整備効果を確認!!

いずみあくな せんだいくまのじょう
～出水阿久根道路・川内隈之城道路開通1年経過～

平成27年3月に開通した南九州西回り自動車道 出水阿久根道路、川内隈之城道路の開通1年後の整備効果についてとりまとめましたのでお知らせします。

〔平成27年3月29日開通：出水阿久根道路（阿久根北IC～阿久根IC間）
平成27年3月7日開通：川内隈之城道路（薩摩川内高江IC～薩摩川内都IC間）〕

開通1年経過に伴う各分野での整備効果

- 【観 光】** ①南九州西回り自動車道周辺の観光施設の来訪者数が、開通前に比べ軒並み増加（平均1割増加）
②鹿児島市と北薩地域がより身近になり、観光地での滞在時間や交流圏域が拡大し、今後も来訪者の増加に期待。
③北薩地域と鹿児島市間の移動時間が短縮され、北薩地域の住民の余暇活動が充実し、来訪頻度が増加。
- 【渋 滞】** 薩摩川内市の伝統行事「川内大綱引」の会場周辺の走行速度が向上し、スムーズに通行でき、また会場周辺の交通混雑も緩和されました。
- 【産 業】** ①開通区間を利用している企業の多くが、効率よく輸送できるようになったと実感
②開通後新たに立地協定を締結した企業が、開通前の3倍に増加。今後未開通区間の開通により雇用の拡大に期待。
- 【事 故】** 並行する国道3号から南九州西回り自動車道への交通転換が図られ追突事故4割減少、重大事故5割減少

なお、今後も引き続き交通状況の把握に努めて参ります。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 鹿児島国道事務所

TEL : 099-216-3111（代表）

技術副所長 いしばし けんいち
石橋 賢一計画課長 ながた てつや
永田 哲也

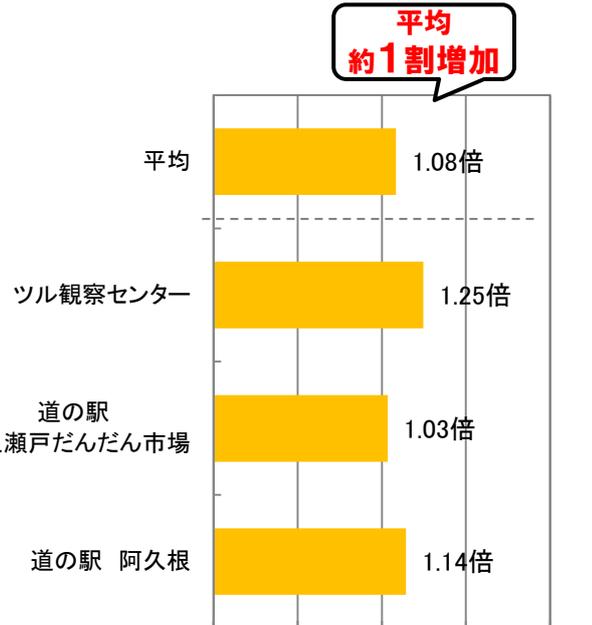
【観光・交流①】北薩地域の観光の活性化

- 南九州西回り自動車道周辺の観光施設の来訪者数が、開通前に比べ軒並み増加（平均1割増加）しています。
- 北薩地域のイベントへの来訪者も増加し、時間短縮効果で次回以降への来訪意欲にもつながっています。

北薩地域の観光施設の来客数が軒並み増加！



▼観光施設の来客数の伸び(対前年比)

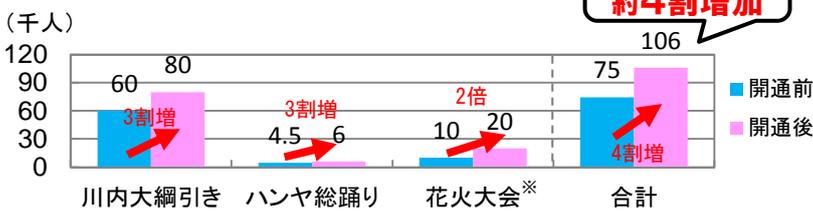


北薩地域の文化型観光施設のうち鹿兒島市からの来訪者数第1位！
過去5年で最も高い売上額を期待されている！
資料：住民アンケート調査結果、道の駅提供資料、プローブデータ (H26. 4~H26. 7、H27. 4~H27. 7)

※ツル観察センターは11月~3月、その他は年間集計
資料：出水市、阿久根市、各道の駅提供資料

臨時駐車場も満車に！北薩地域のイベントも盛況！

▼イベントの来客数の変化



資料：川内大綱引保存会、阿久根みどこい祭り実行委員会提供資料

【阿久根みどこい祭り ハンヤ総踊り(夏)、花火大会(秋)】
夏と秋に分けて開催される阿久根市最大級のイベント。夏には道路を歩行者天国にして約2千人が踊るハンヤ総踊り、秋には約2万人が訪れる花火大会が開催される。



・今年は高速道路開通もあり、車で訪れる来訪客増加を見込み交通誘導員を多く配置しました。実際、臨時駐車場も満車になったので、祭りも例年以上に盛況であったと思います。

(阿久根市商工観光課 阿久根みどこい祭り 実行委員会事務局)

・花火大会は初めて来ましたが、以前阿久根に来た時に比べると（開通前に比べると）、確実に時間短縮ができており、かなり早く感じました。

(花火大会観客；日置市住民)

・花火大会は初めてですが、思っていたより早く着いたので、また次回も来ようと思います。

(花火大会観客；鹿屋市住民)

【観光・交流②】 鹿児島市から北薩地域への来訪意欲増大

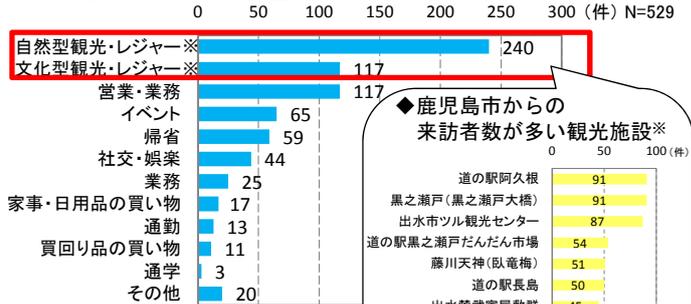
- 鹿児島市から北薩地域へ来訪する人の多くは、主に観光やレジャーを目的にしています。（自然景観、名所・旧跡、海水浴・キャンプなど）
- 今回の開通により、観光地での滞在時間の拡大や交流圏域の拡大を実感し、開通区間利用者の約6割が来訪頻度が増えた又は今後増えると感じています。

鹿児島市から北薩地域への来訪意欲増加に寄与

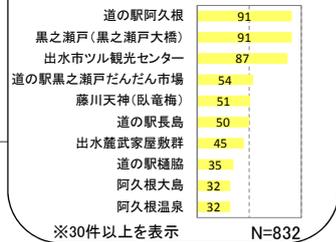


※鹿児島市の道路利用者を対象にweb及び配布にて、アンケート調査を実施いたしました（H27.12～H28.1実施）

鹿児島市から北薩地域への来訪目的



鹿児島市からの来訪者数が多い観光施設※



※自然型観光・レジャーの例
⇒自然景観、名所・旧跡、海水浴・キャンプなど
※文化型観光・レジャーの例
⇒ショッピング、食事、文化施設など

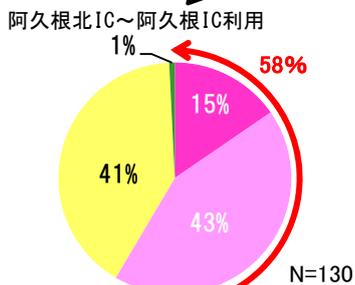
＜鹿児島市からの来訪者が多い観光地トップ3＞



今回開通区間利用者のアンケート結果

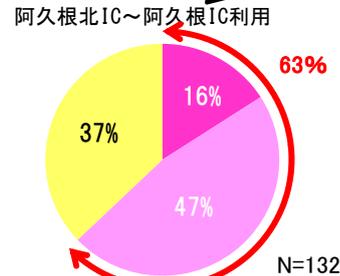
●今回開通に対する満足度

6～7割の方が満足



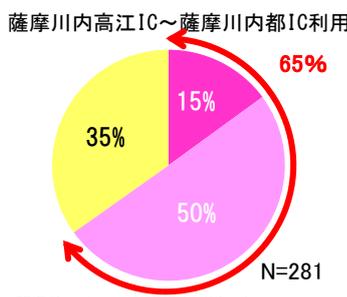
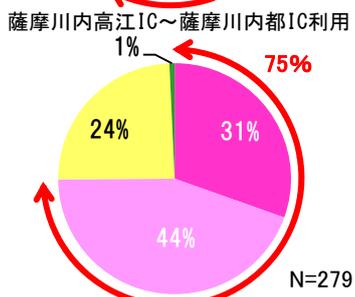
●鹿児島市から北薩地域への来訪頻度の変化

6～7割の方が来訪頻度増加（今後の予定含む）



●開通効果の実感内容

滞在時間の拡大・交流圏域の拡大を実感！



・「遠い」と感じていた薩摩川内市に、あっという間に着くことが出来たので、滞在時間をタツプリとる事が出来た。（開通前に比べて）

・鹿児島市から川内以北、阿久根や出水に観光に行きやすくなった。以前（開通前）は日帰りで行こうとは思わなかったため、大きな変化だと思う。

（上記はすべて鹿児島市住民） 2

【観光・交流③】北薩地域から鹿児島市への来訪頻度増加

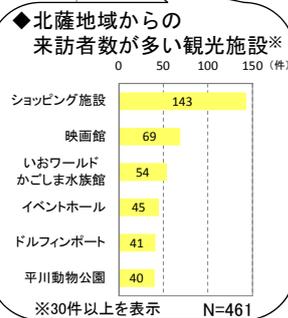
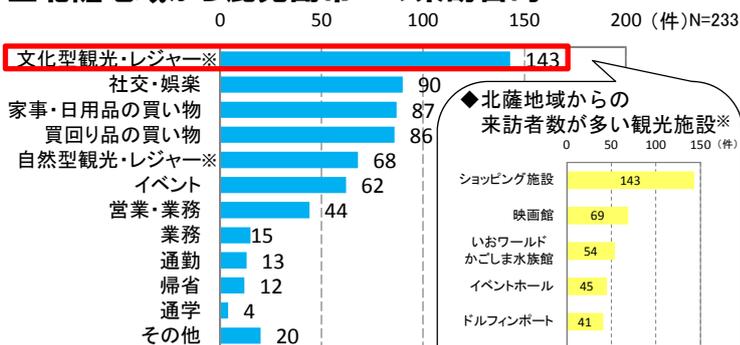
- 北薩地域から鹿児島市へ来訪する人の多くは、主に文化型観光を目的にしています。（映画館、水族館、ショッピングなど）
- 今回の開通により、北薩地域から多様な文化型施設が立地する鹿児島市への移動時間が短縮し、北薩地域の住民は余暇活動の充実、来訪頻度の増加を実感しています。

北薩地域から鹿児島市がより近くに！余暇活動の充実実感！



※北薩地域の道路利用者を対象にweb及び配布にてアンケート調査を実施いたしました（H27.12～H28.1実施）

■北薩地域から鹿児島市への来訪目的



※自然型観光・レジャーの例
→自然景観、名所・旧跡、海水浴・キャンプなど

※文化型観光・レジャーの例
→ショッピング、食事、文化施設など

北薩地域にはない文化施設が多い
映画館、ボーリング場、博物館、美術館、水族館、文化ホール

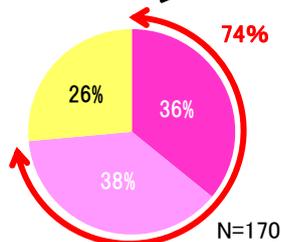
<北薩地域からの来訪者が多い文化型観光施設トップ3>



■薩摩川内高江IC～薩摩川内都IC間利用者のアンケート結果

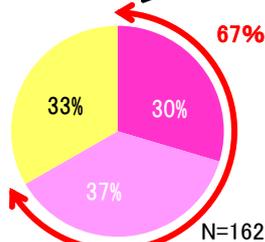
- 余暇活動の充実度の変化
- 鹿児島市への来訪頻度の変化
- 開通効果の実感内容

約7割が余暇活動が充実したと実感



- 開通前に比べて充実した
- 開通前に比べてやや充実した
- 変わらない

約7割が来訪頻度増加 (今後の予定含む)



- 開通前に比べて来訪頻度が増えた
- 開通前に比べて来訪頻度はまだ増えていないが、今後増えと思う
- 開通前と変わらない

文化型観光・レジャーが充実する鹿児島市の近さを実感！

- ・鹿児島市・南薩方面に出かける機会が多いため便利になった。
- ・これまで映画は鹿児島と熊本に半々の割合で行っていたが、今回の開通で鹿児島市が近くなったので、専ら鹿児島市の映画館に行くようになった。



(薩摩川内市 住民)

【渋滞】 高速道路開通でイベント会場周辺の速度向上

- 今回の開通により、川内大綱引開催に伴う国道3号通行規制時も、開通区間が**迂回路の役割**を果たすことで、**通過交通がスムーズに通行**できるようになりました。(通行規制区間の回避)
- また通過交通が排除されたことで、**会場周辺の交通混雑も緩和**されることとなりました。

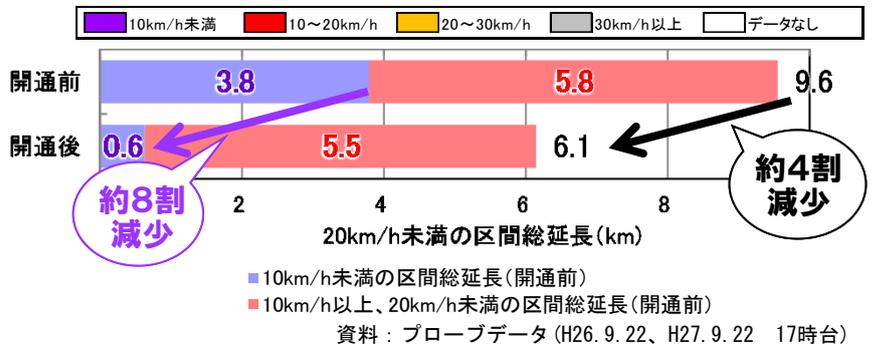
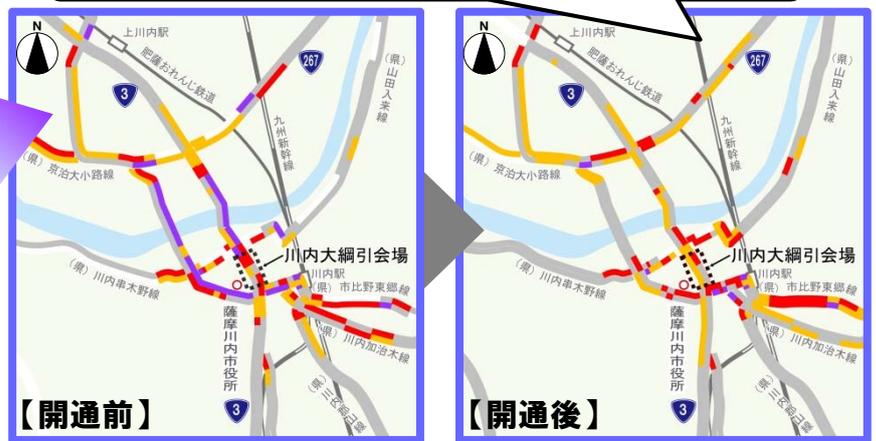
開通区間が通過交通の迂回路に！川内大綱引での混雑緩和

●川内大綱引会場位置図



●川内大綱引当日の会場周辺の渋滞状況の変化(17時台)

通過交通が開通区間へ転換→**会場周辺の混雑緩和!**



【川内大綱引】(毎年9月22日開催)

日本一の大きさ・重さを誇るジャンボ綱を男たちが一斉に引き合う川内大綱引。400年以上続く薩摩川内市の伝統行事で、参加者は3,000人、観客は6万人に及ぶ。



写真：薩摩川内市提供

【通過交通：迂回路利用でスムーズに!】

・どの道を使っても輸送時間に遅れが出るので困っていた。今年は高速道路を迂回路に利用できたので、祭りの混雑に巻き込まれずにスムーズに通行できた。

(運送会社ドライバーの声)



【路線バス：ダイヤの乱れがなくなりました!】

・国道3号も迂回路も混んでいるため、去年はダイヤから最大40分程度の遅れがあった。今年はほぼ遅れることなく運行できた。

(路線バスドライバーの声)



【川内大綱引観客：ストレスなく会場到着!】

・去年までは通行止めの時間帯の国道3号は全然進まなくなっていました、今年はストレスなく楽に会場に来了。

(川内大綱引観客の声)



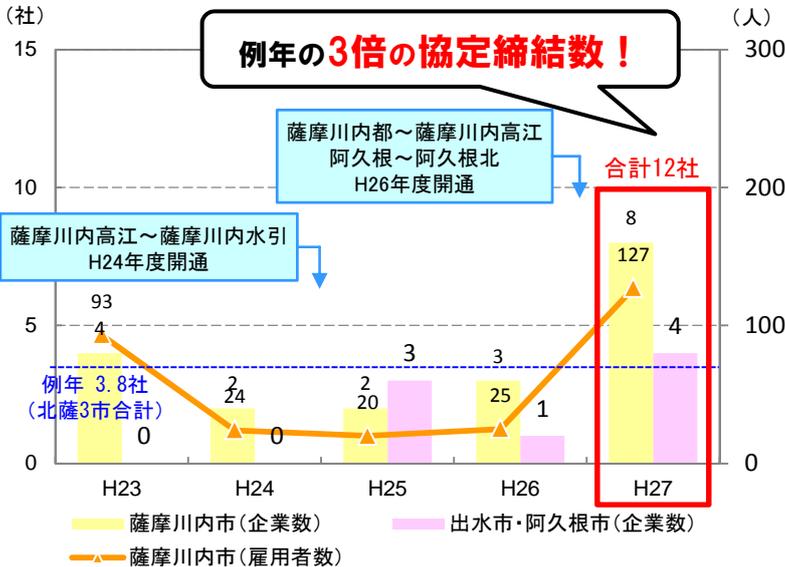
【産業①】沿線地域に企業立地続々

- 開通後（平成27年4月～12月）、新たに立地協定を締結した企業は12社で、開通前の立地状況（約4件/年）に比べ**3倍の増加**となっており、産業振興が期待されます。
- また、企業立地に伴い、薩摩川内市では**約130人の雇用が創出**され、新たな雇用から定住促進につながることも期待されます。今後、未開通区間が整備されることで、出水市や阿久根市の雇用拡大も期待されます。

企業立地相次ぎ、地域経済活性化に期待大！



▼沿線自治体の立地企業数と雇用者数の推移



※出水市・阿久根市の雇用者数は一部非公表のため、非掲載
資料：鹿児島県HP（薩摩川内市、阿久根市、出水市対象）

・薩摩川内市に立地を決めた理由として、南九州西回り自動車道の存在はある。今は福岡・熊本方面はつながっていないが、薩摩川内から鹿児島市まではつながっているということで、利便性に期待して、ここに立地を決めた。

・福岡や熊本方面にも顧客は多いので、全線開通を切に願っている。

（薩摩川内市 機械部品製造業 C社）

・高速道路ICの近くで交通の便が良いことも移転理由の一つ。
・開通で時間短縮が図られて社員の通勤に余裕ができた。

（薩摩川内市 電子部品製造業 D社）

【産業②】 地域企業の産業活動を支援

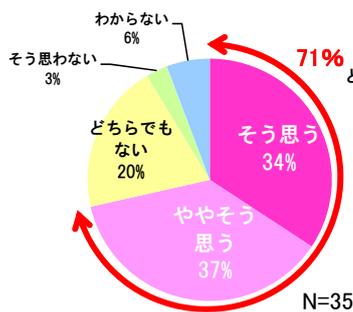
- 今回の開通により、開通区間を利用している企業の多くが、**移動時間の短縮により、効率よく輸送できるようになった**と感じています。
- その他、**走行性向上による運転時のストレス減少、ヒヤリハットの減少**等の効果を実感する企業も多く、高い満足度を示しています。

時間短縮・走行性向上を多くの企業が実感！

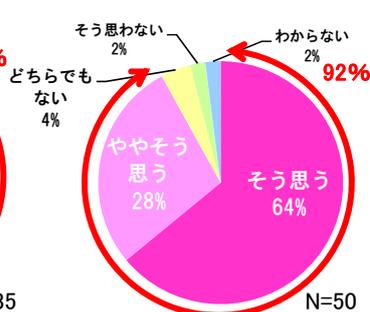
※九州内の企業を無作為抽出し、アンケート調査を実施いたしました（H28.1実施）

●所要時間の短縮効果について

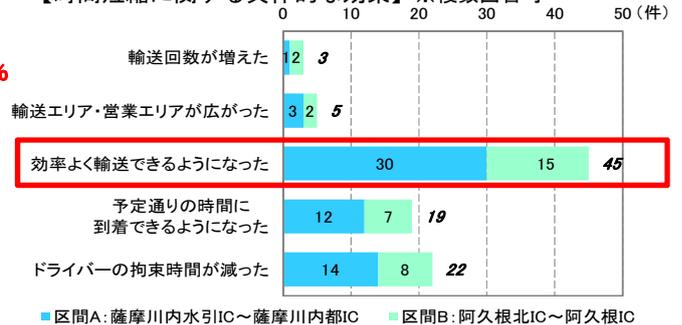
阿久根北IC～阿久根IC利用



薩摩川内水引IC～薩摩川内都IC利用



【時間短縮に関する具体的な効果】※複数回答可

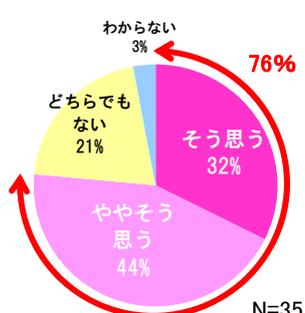


開通区間を利用する企業の
約7割以上が時間短縮効果を実感！

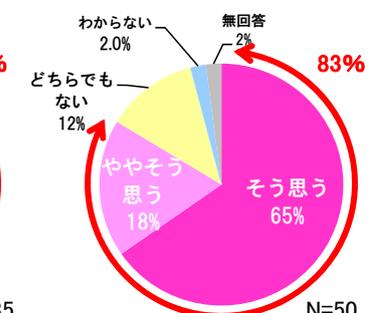
効率よく輸送できるようになった
という声が多数！

●走行性の向上効果について

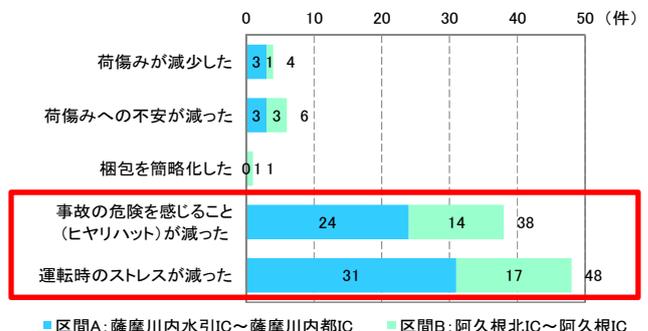
阿久根北IC～阿久根IC利用



薩摩川内水引IC～薩摩川内都IC利用



【走行性向上に関する具体的な効果】※複数回答可

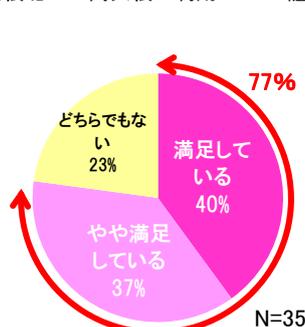


開通区間を利用する企業の
約7割以上が走行性向上効果を実感！

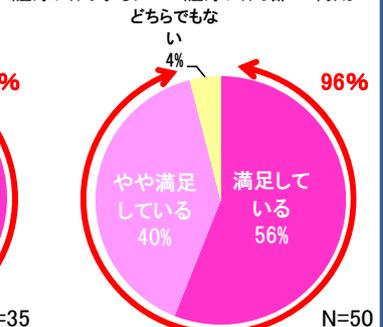
運転時のストレスが減った、
ヒヤリハットが減ったという声が多数！

●利用者（企業）満足度

阿久根北IC～阿久根IC利用



薩摩川内水引IC～薩摩川内都IC利用



開通区間を利用する企業の
約7割以上が満足しています！

- ・運行管理がしやすくなったのが一番大きい。余程の時以外は通行でき、時間のずれもほとんどないので、より正確な運行指示書をドライバーに渡すことができる。
- ・長距離だと20～30分の時間短縮効果は少ないと思われがちだが、拘束時間が決まっている中で、短縮分、先まで行くことができる効果は大きい。

（いちき串木野市 運送業 A社）

- ・これまでは1日1～2往復だったのが、開通後は確実に2往復できるようになった。場合によっては3往復行けるときもあり、効率よく輸送できるようになった。

（鹿児島市 運送業 B社）

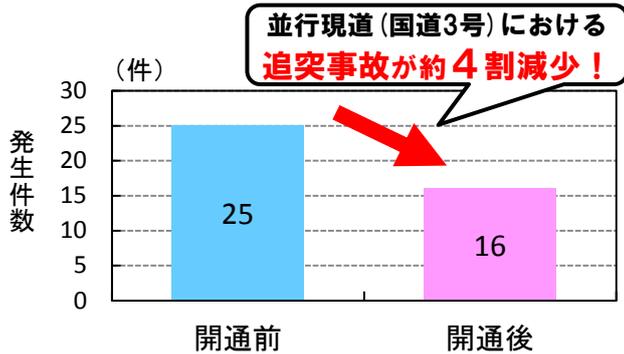
【事故】地域の安全性向上

- 今回の開通により、並行する国道3号から南九州西回り自動車道への交通の転換が図られ、**追突事故は約4割減少**、**重大事故は5割減少**しました。
- 沿線地域の住民からも、**国道3号における安全性が向上**したという声があり、地域の安全性向上に寄与しています。

交通転換により川内隈之城道路の並行区間の重大事故が減少！

●追突事故件数の変化

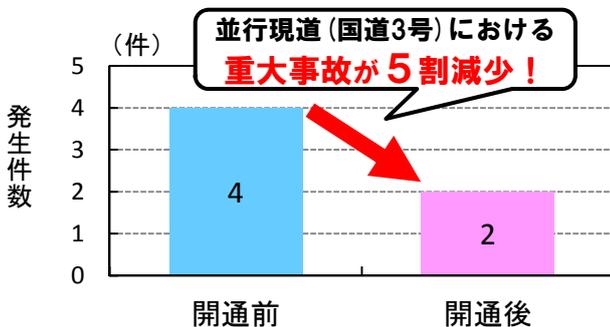
(国道3号:川内隈之城道路並行区間)



資料：鹿児島県警察提供資料 (H26. 4~H26. 11、H27. 4~H27. 11)

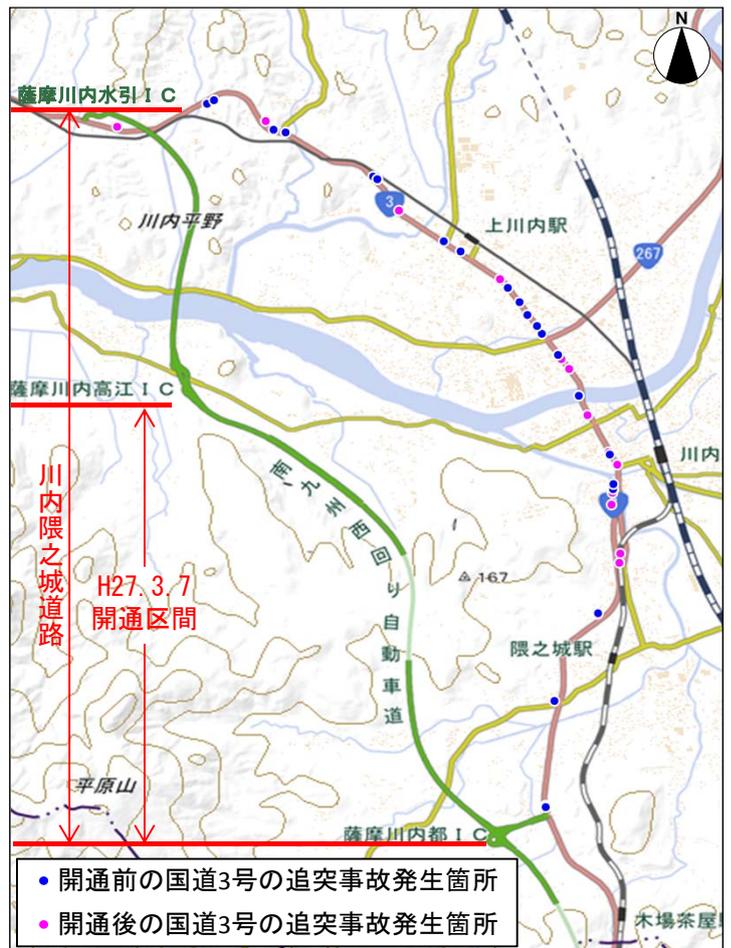
●重大事故*件数の変化

(国道3号:川内隈之城道路並行区間)



*重大事故：死者又は重傷者を生じた事故。

資料：鹿児島県警察提供資料 (H26. 4~H26. 11、H27. 4~H27. 11)



●急ブレーキ・急ハンドル発生率の違い

<国道3号(並行現道区間)>
 ・信号交差点
 ・沿道出入
 ・従道路からの合流
 などにより危険な挙動が発生！
 急ブレーキ：96回/千台km
 急ハンドル：110回/千台km



<南九州西回り自動車道>
 IC付近で危険な挙動が発生！
 急ブレーキ：50回/千台km
 急ハンドル：21回/千台km

資料：ETC2.0プローブデータ (H27. 4. 1~H27. 11. 30)

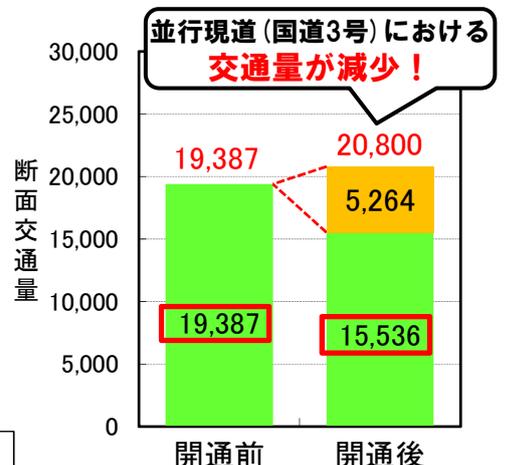
(区間：薩摩川内水引IC交差点→薩摩川内都IC交差点)

*急ブレーキ：前後加速度$-0.25G$以上

急ハンドル：左右加速度$|0.25|G$以上又はヨー角速度$|8.5|deg/s$以上

■開通前後の交通量の変化

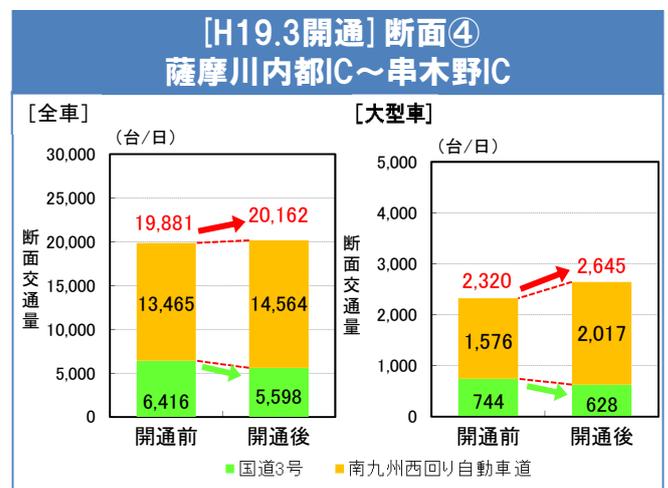
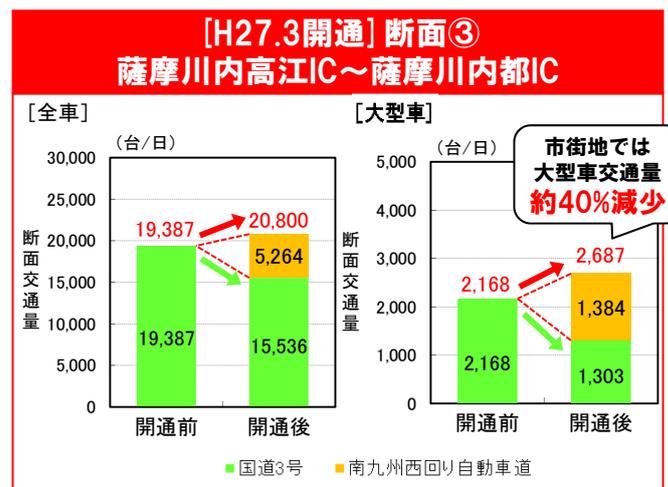
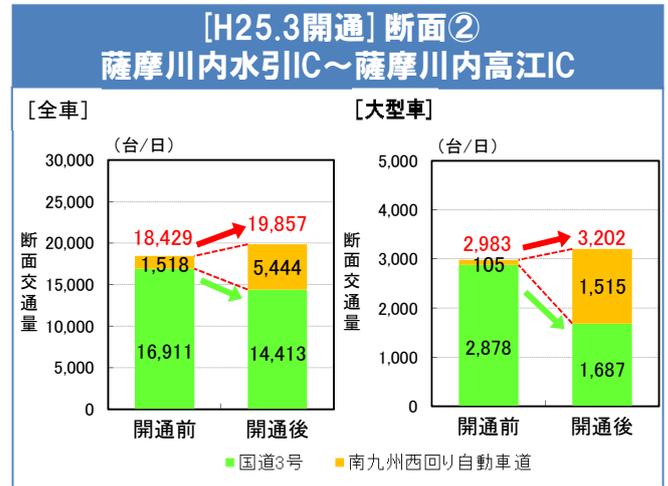
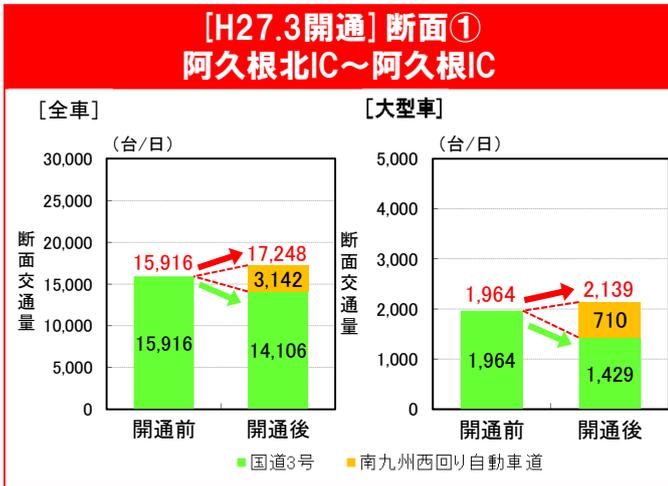
(薩摩川内高江IC~薩摩川内都IC断面)



資料：交通量調査結果 (H27. 2. 25、H28. 3. 2)

(参考) 開通後の交通状況

- 開通区間の交通量は、阿久根北IC～阿久根IC間は、約3,100台/日
薩摩川内高江IC～薩摩川内都IC間は、約5,300台/日
- 薩摩川内市街地の国道3号では大型車交通量が約40%減少



開通区間周辺 位置図

【交通量調査結果】 開通前：平成27年2月25日(水)
開通後：平成28年3月2日(水)